

立命館大学アート・リサーチセンター
 文部科学省 国際共同利用・共同研究拠点
 「日本文化資源デジタル・アーカイブ国際研究拠点」
 2021 年度 国際共同研究成果報告書〔研究設備・資源活用型〕

2022 年 5 月 5 日 提出

1. 研究課題名	
スタンフォード大学東アジア図書館所蔵熊本藩文人書状集内容翻刻 (英文課題名: Providing descriptive metadata and transcriptions for Collection of correspondence and poems from various officials from the Kumamoto domain)	
2. 研究代表者	
氏名 (ふりがな) まっざみえこ	所属機関・職名
マツザ美恵子 (まっざみえこ)	スタンフォード大学テクニカルサービス部門長・日本語部門テクニカルサービス司書
3. 研究分担者 (合計: 1 名)	
氏名 (ふりがな)	所属機関・職名
マツザ美恵子 (まっざみえこ)	スタンフォード大学東アジア図書館

4. 研究課題の概要 (300 字程度) (申請書から変更がある場合は、変更点分かるように明記してください)
スタンフォード大学東アジア図書館が所蔵する「熊本藩文人書状集」(109 点の資料からなるコレクション)は現時点で未だ翻刻作業が完了しておらず、継続してメタデータの充実を図る必要がある。立命館大学 ARC の「くずし字翻刻学習・指導システム」を引き続き使用し、当コレクションが既に作成済みのデジタル画像から研究代表者(マツザ)が翻刻文作成を継続する。翻刻文に基づきスタンフォード大学東アジア図書館 OPAC 上に公開されるメタデータの充実を努める。昨年度は新型コロナウイルスの流行拡大のためリモートワーク移行に因るプロジェクト等により翻刻が遅々として進まなかった為、昨年を引き続いての申請とした次第である。2021 年度の研究申請が受諾されたあかつきには、全文書の翻刻完了を目標に作業を継続する。
5. 研究成果の概要 (この項は、本センターのホームページ・紀要等で公開することがあります)
2021 年度くずし字翻刻錬成講座第2Phase(2021 年 10 月 22 日～)に参加し、チューターの伊東宗裕先生にご指導を頂く光栄に預かった。伊東先生の添削、翻刻ご指導により 109 点の資料の内、64 点もの資料を添削、翻刻して頂いた。この過程は御大学アート・リサーチセンター紀要『アート・リサーチ vol.22-2』に研究ノートとして掲載して頂いた。チューターの伊東先生のご指導を受ける際にくずし字翻刻システムがいかに学習者の遠隔教育に適しているかということを実感した。解説支援画面の下部に位置する注釈、連絡欄にはチューターへの質問を記録することが出来るのでこれを利用し的確なご助言を頂いた。また、添削・翻刻指導を受けた後にも、その場で学習が終わるのではなく、同画面の翻刻更新履歴に残っている進捗記録を繰り返し見直すことにより自らの習熟度を測ると同時にこの時代の文書の基本構成を覚えることにもつながった。第 2Phase は残念ながら既に終了してしまったが、2022 年度で全文書の翻刻完了というゴールに向けて、伊東先生のご指導を無駄にしないよう翻刻完了を目指して精進したい。

6. 研究業績 (この項は、本センターのホームページ・紀要等で公開することがあります)

- (1) 著書
- (2) 論文
- (3) 研究発表等
- (4) 主催したシンポジウム・研究会等
- (5) その他研究活動 (報道発表や講演会等)
- (6) 受賞学術賞
- (7) 科学研究費助成事業
- (8) 競争的資金等 (科研費を除く)
- (9) その他

研究ノート

・「スタンフォード大学東アジア図書館所蔵「熊本藩文人書状集」

解読の試み 第 1 phase、第 2 phase を通して」、単著、2022 年 3 月、オンライン・ART RESEARCH
vol. 22-2、査読無